

松戸市消防のあゆみ

松 戸 市 消 防 の あ ゆ み

明治27年	2 月	消防組規則公布
明治27年	7 月	消防組規則施行細則公布
明治31年	7 月	消防規則発令(千葉県令32号)
明治38年	11 月	松戸町消防組設置
昭和14年	4 月 1 日	警防団令が公布され消防組と防護団を統合して松戸町警防団を組織
昭和18年	4 月 1 日	松戸市制施行
〃	6 月 1 日	警防団常備消防部を設置
昭和22年	11 月 3 日	松戸市消防団を設置、初代消防団長に倉田保就任 警防団常備消防部を消防団常備部に改正
昭和23年	3 月 7 日	消防組織法施行
昭和26年	12 月 28 日	松戸市消防団条例を制定
昭和29年	11 月 1 日	消防団常備部を廃し、県下7番目の消防本部として、消防本部、消防署を設置、消防職員28名、消防車3台で発足、初代消防長に朝日出喜六就任
〃	12 月 20 日	東葛市の一部(旧小金町)との合併により、現在の消防団の骨格が整う
昭和31年	12 月 10 日	小金分遣所設置、消防職員12名、消防車1台で発足
昭和32年	6 月 1 日	消防用無線開通 基地局1基、移動局2基
〃	6 月 1 日	119番通報の自動ダイヤル化
昭和33年	4 月 1 日	職員定数43名
昭和34年	4 月 1 日	職員定数55名 第2代消防長に鈴木千秋就任
〃	5 月 30 日	矢切分遣所設置、消防職員12名、消防車1台で発足
〃	11 月 20 日	松戸市消防署に救急班を設置
昭和35年	4 月 1 日	職員定数57名
〃	4 月 5 日	松戸市危険物安全協会創立、会員160名
昭和36年	10 月 23 日	第1回防火管理者講習会を開催
昭和37年	4 月 1 日	職員定数66名
昭和38年	4 月 1 日	職員定数77名
昭和39年	4 月 1 日	職員定数87名
〃	6 月 23 日	救急班を救急隊に改称
〃	10 月 27 日	松戸市防火協会創立、会員192名
昭和40年	4 月 1 日	職員定数90名
〃	5 月 15 日	消防本部の機構改革に伴い松戸市消防署を松戸市中央消防署に改称
〃	5 月 15 日	小金分遣所を署、矢切分遣所を分署に昇格
〃	5 月 15 日	小金消防署合同庁舎完成、消防車2台、消防職員27名に拡大
〃	10 月 3 日	小金消防署に屈折はしご車を新規導入
〃	12 月 11 日	中央消防署に化学消防自動車を新規導入
昭和41年	4 月 1 日	職員定数102名
〃	5 月 21 日	西口分署を設置
〃	〃	消防本部、中央消防署仮庁舎を西口分署に仮移転
〃	10 月 1 日	第2代消防団長に石川勇三就任
〃	10 月 14 日	松戸1855番地(松戸駅西口密集地)の火災で消防職員1名殉職
昭和42年	4 月 1 日	職員定数114名

松 戸 市 消 防 の あ ゆ み

昭和42年	4 月 1 日	消防音楽隊結成、隊員30名で発足
〃	6 月 1 日	消防団方面隊制を制定、5方面隊24ヶ分団の組織
〃	6 月 23 日	消防本部、中央消防署合同庁舎開設
昭和43年	4 月 1 日	職員定数117名
〃	5 月 2 日	第3代消防長に柳井清就任
昭和44年	4 月 1 日	職員定数142名
〃	7 月 15 日	五香消防署設置、消防車2台、消防職員21名で発足 機構改革 消防本部総務、警防、予防の3係を課に昇格〔3課6係1室〕
昭和45年	4 月 1 日	職員定数187名
〃	〃	西口分署を消防署に昇格、消防車3台、救急車1台、指揮車1台、消防職員31名に拡充
〃	〃	消防団員の定数610名に減員
〃	8 月 25 日	中央消防署にはしご付消防ポンプ自動車を新規導入
〃	9 月 1 日	防災総合訓練(県・市共催)、参加33機関、1,372名、車両186台、場所松戸市運動公園予定地
昭和46年	4 月 1 日	職員定数200名
〃	6 月 23 日	消防吸排処理車1台購入、五香消防署に配置
〃	11 月 1 日	特別救助隊設置、隊長2名、隊員10名
昭和47年	1 月 6 日	松戸市消防旗を制定
〃	3 月 4 日	消防本部・団に千葉県知事より優秀表彰旗授与
〃	4 月 1 日	職員定数を211名
〃	4 月 28 日	マイクロバス1台を配置
〃	11 月 15 日	中央消防署に救助工作車を新規導入
昭和48年	4 月 1 日	職員定数220名
〃	7 月 1 日	二十世紀が丘消防署設置、消防車2台、救急車1台、職員27名配置
〃	8 月 1 日	自治会防火推進月間
〃	9 月 21 日	全国消防救助技術大会に初めて参加
〃	11 月 1 日	第4代消防長に薮崎貴助就任
昭和49年	1 月 20 日	救急指令装置(B型)を設置
〃	4 月 1 日	職員定数270名
〃	〃	婦人消防官6名採用
〃	8 月 7 日	東葛飾中部地区水防演習実施
〃	10 月 1 日	西口消防署に特別救助隊を設置
昭和50年	4 月 1 日	総務課に教養係を設置
〃	5 月 12 日	第1回プロパンガス事故絶滅1万戸点検運動実施
〃	7 月 28 日	中央消防署と小金消防署にミニ消防車を新規導入
〃	10 月 3 日	消防団に無線受令機を新規導入開始
〃	12 月 1 日	毎月1日を市民防火の日と制定
昭和51年	1 月 7 日	松戸市消防歌制定
〃	7 月 23 日	特定防火対象物指導会実施(改正法令等)
〃	8 月 29 日	大震火災消防訓練実施(馬橋西口地区)
〃	11 月 5 日	二十世紀が丘消防署に圧縮空気充填所を設置

松 戸 市 消 防 の あ ゆ み

昭和51年	12 月 7 日	児童防火ポスター展開催
昭和52年	2 月 25 日	第30回東葛飾地方中学校駅伝競争大会記念行事において感謝状を授与される
〃	3 月 1 日	消防本部に起震車を新規導入
〃	3 月 4 日	消防本部・消防団に消防庁長官より竿頭綬が授与
〃	4 月 1 日	職員定数296名
〃	5 月 27 日	馬橋消防署設置、消防車1台、救急車1台、指揮車1台、職員21名
〃	7 月 1 日	警防課に救助係を設置 小金消防署に特別救助隊を設置
〃	12 月 7 日	消防本部、消防団が「県民の消防員」として団体表彰
昭和53年	3 月 16 日	防火習字展開催
〃	4 月 1 日	職員定数301名
〃	4 月 3 日	第5代消防長に平野廣司就任
〃	7 月 13 日	1都6県利根川水系連合水防演習を実施
〃	11 月	第1回屋内消火栓操法大会を開催
昭和54年	1 月 20 日	耐震性防火水槽(100m ³)の新設を開始
〃	4 月 1 日	職員定数324名
〃	4 月 2 日	第1回救急隊員資格取得補充講習会を開催
〃	5 月 1 日	機構改革 消防本部に企画管理官を置き、救急救助課を設置 〔1本部・1官・4課・1室・8係〕
〃	5 月 23 日	六実消防署設置、消防車1台、ミニ消防車1台、救急車1台、指揮車1台、職員23名
〃	7 月 1 日	松戸市ファイヤーシルクスを結成〔隊員11名〕
〃	9 月 1 日	松戸市消防近代化推進委員会を発足〔委員会・6代表部会・7所属部会〕
〃	〃	目で見える消防のあゆみ展開催
昭和55年	1 月 5 日	第1回新春防火かるた大会実施
〃	3 月 8 日	東葛飾地区消防音楽隊合同防火パレード実施
〃	4 月 1 日	職員定数341名
〃	〃	「松戸市消防本部」を「松戸市消防局」に改称
〃	〃	機構改革 指令室を通信指令課に昇格〔1局・1官・5課・12係〕
〃	4 月 1 日	消防署の消防係を予防係と警防係に改正〔3係制〕
〃	8 月 20 日	ガス事故防止3R運動実施
〃	10 月 8 日	第1回消防技術競技会開催
〃	12 月 2 日	第1回ガス災害対策合同訓練を実施
昭和56年	2 月 9 日	消防団方面分団長制を採用
〃	4 月 1 日	職員定数362名
〃	〃	機構改革 予防課に査察係設置(10名)
〃	6 月 9 日	消防局に隊員輸送車を新規導入
〃	9 月 1 日	第2回六都県市合同防災訓練、千葉県会場が松戸市で開催
昭和57年	4 月 1 日	職員定数372名
〃	9 月 9 日	「救急の日」「救急医療週間」制定に伴ない普及、啓蒙運動を実施
〃	10 月 1 日	学校プール吸水装置を計画導入開始

松 戸 市 消 防 の あ ゆ み

昭和57年	10 月 6 日	第1回(財)千葉県消防協会東葛飾支部消防操法大会を金ヶ作公園で開催
昭和58年	1 月 25 日	新庁舎業務開始、消防救急指令管制システムの運用開始
〃	4 月 1 日	職員定数382名
〃	5 月 1 日	第6代消防局長に中尾和就任
〃	6 月 29 日	消防団にゴムボートを配置
〃	8 月 22 日	二十世紀が丘消防署に照明電源車を新規導入
〃	12 月 21 日	消防局に資機材搬送車を新規導入
〃	12 月 31 日	第3代消防団長 布施博就任
昭和59年	3 月 2 日	救急大災害訓練をダイエー新松戸店で実施
〃	3 月 15 日	松戸市西口消防署新築工事完了
〃	4 月 1 日	職員定数390名
〃	〃	4週5休制を実施
〃	〃	副署長の3部制を実施
〃	5 月 11 日	消防局に防災指導車と救急指導車を新規導入
〃	10 月 1 日	機構改革 企画管理官を企画管理室に、救急救助課を救急防災課に、通信指令課を指令課に改称〔1局・1室・5課・16係〕
〃	10 月 6 日	松戸市消防救急30周年記念式典を消防局講堂で開催
〃	10 月 10 日	松戸市消防救急30周年記念消防フェアを伊勢丹松戸店前で開催
〃	11 月 22 日	消防警察合同演技大会を松戸市運動公園競技場で開催（シュワルツ博士の表敬訪問）
昭和60年	4 月 1 日	職員定数412名
〃	〃	消防団組織の改革〔8方面隊・10中隊、35個分団・定数610名〕
〃	4 月 24 日	消防団方面隊発隊式を松戸競輪場駐車場で開催
〃	5 月 4 日	東部消防署設置、消防車1台、ミニ車1台、救急車1台、指揮車1台、職員26名
〃	9 月 1 日	八ヶ崎に消防訓練場用地確保
昭和61年	3 月 3 日	松戸市消防国際救助隊が発足
〃	11 月 9 日	119番の日を制定
〃	12 月 5 日	消防訓練場の名称を松戸市消防訓練センターとし、開所式を挙行
昭和62年	3 月 1 日	中央消防署に空気充てん車を新規導入
〃	6 月 14 日	第4代消防団長に湯浅泰之助就任
昭和63年	4 月 1 日	職員定数422名
〃	〃	第7代消防局長に加藤康夫就任
〃	〃	4週6休制実施
〃	8 月 18 日	松戸市少年婦人防火委員会を設置〔少年消防クラブ1、婦人防火クラブ7〕
〃	11 月 1 日	無線局呼び出し名称を変更し運用
〃	11 月 7 日	指揮車をワゴン式に変更
〃	12 月 1 日	自治体消防40年記念、松戸市消防大会を市民会館で実施
平成元年	3 月 20 日	中国研修生を受入れ
〃	4 月 1 日	消防局に総務、予防及び警防担当参事監を置く
〃	4 月 1 日	兼務救助隊1隊を西口消防署に配置
〃	5 月 12 日	松戸市消防訓練センター落成式典を実施
平成元年	6 月	救急隊員の制服改正

松 戸 市 消 防 の あ ゆ み

	//	7 月 1 日	消防職員高齢化対策検討特別委員会を設置
	//	9 月 21 日	消防局に輸送車(57人乗り)を新規導入
	//	10 月 5 日	大規模列車事故対策訓練をJR松戸駅構内で実施
	//	10 月 14 日	英会話研修を実施
	//	11 月 18 日	消防団防火管理特別講習会を実施
	//	12 月 8 日	自治体消防40周年記念論文集を発刊
平成2年		3 月 4 日	90消防フェスティバルを消防訓練センターで実施
	//	4 月 1 日	第8代消防局長に葛岡和夫就任
	//	4 月 18 日	東京電力との専用線設置
	//	6 月 29 日	個人用空気呼吸器面体を購入配置
	//	7 月 11 日	第9回千葉県消防協会東葛飾支部消防操法大会を消防訓練センターで実施
	//	9 月 30 日	消防団方面隊実戦訓練を実施
	//	10 月 1 日	日勤副署長、指令課課長補佐の毎日勤務及び当直指令代行制の試行を実施
	//	10 月 9 日	第13回屋内消火栓操法大会を3人操法に改正
	//	10 月 26 日	警防査閲を実施
	//	12 月 17 日	中央消防署に斜め横走行可能なはしご付消防自動車を更新配置
平成3年		4 月 1 日	職員定数432名
	//	4 月 1 日	第9代消防局長に川越昭義就任
	//	//	第5代消防団長に花嶋誠就任
	//	6 月 4 日	危険物安全の集いを開催
	//	10 月 1 日	各消防署に防災指導員及び救急指導員の試行を実施
	//	//	五香消防署に特別救助隊を配置
平成4年		3 月 1 日	松戸市消防音楽隊25周年ドリームコンサートを開催
	//	3 月 2 日	救急Ⅱ課程入校(松戸市初)
	//	4 月 1 日	職員定数457名
	//	//	松戸市防火協会支部制発足
	//	//	防災指導員・救急指導員制度実施
	//	//	消防団活性化広報員を任命
	//	//	消防団拠点施設整備事業開始
	//	4 月 10 日	クラーク市警察署長歓迎式
	//	4 月 27 日	松戸消防友の会創立
	//	4 月 28 日	消防広報紙「消防だより」の発刊
	//	6 月 11 日	ガス災害・集団救急事故対策合同訓練及び応急手当公開セミナーを松戸運動公園において実施
	//	7 月 13 日	服制等検討委員会を設置
	//	8 月 20 日	防災フェアちば' 92を(株)伊勢丹松戸店で実施
	//	10 月 1 日	大金平消防署設置 指揮車、水槽付消防ポンプ自動車、ミニ車、職員25名
	//	//	松戸市消防団大金平方面隊が発足
	//	10 月 5 日	わが街を守る消防団写真展(～12月1日まで)
	//	11 月 6 日	松戸市消防局に救急救命士が誕生
	//	11 月 11 日	消防団活性化対策検討委員会を設置
平成4年		11 月 26 日	市民指導技術研究発表会を開催

松 戸 市 消 防 の あ ゆ み

	//	12 月 18 日	中央消防署に高規格救急車を新規導入
	//	12 月 27 日	完全週休2日制実施
平成5年		1 月 1 日	署の方面制を実施
	//	1 月 26 日	消防団拠点施設整備事業（第5分団・第6分団）
	//	1 月 27 日	消防団拠点施設整備事業（第11分団・第22分団）
	//	2 月 5 日	消防機械器具等の改良開発研究発表会を開催
	//	4 月 1 日	職員定数485名
	//	4 月 6 日	国際消防救助隊の派遣集合訓練を実施
	//	7 月 28 日	西口消防署に小型消防救助艇を新規配置
	//	8 月 1 日	7か国語防災ガイド完成
	//	11 月 9 日	21世紀の森と広場消防演習を実施
平成6年		1 月 28 日	消防団拠点施設整備事業（第7分団1班・第20分団・第24分団）
	//	3 月 2 日	消防団拠点施設整備事業（第1分団）
	//	3 月 31 日	消防団拠点施設整備事業（第30分団・第34分団1班）
	//	4 月 4 日	消防団拠点施設整備事業（第17分団）
	//	3 月 15 日	応急手当普及啓発活動実施要綱を定め、家庭救急員10万人体制を推進
	//	10 月 15 日	まつど消防40周年記念式典を松戸市文化会館で挙行
	//	10 月 30 日	まつど消防40周年記念消防フェスティバルを開催
	//	12 月 28 日	消防団拠点施設整備事業（第15分団・第29分団）
平成7年		1 月 18 日	阪神淡路大震災に救助隊を派遣
	//	2 月 28 日	消防団拠点施設整備事業（第9分団1班・第33分団）
	//	4 月 1 日	第10代消防局長に齋藤輝美就任
	//	//	第6代消防団長に齋藤和實就任
	//	//	女性消防吏員の救急隊員誕生
	//	5 月 16 日	化学中隊発足
	//	6 月 30 日	緊急消防援助隊発足
	//	10 月 1 日	女性消防吏員の隔日勤務体制実施
	//	11 月 21 日	市内企業自衛消防隊と消防活動の応援協定締結
	//	12 月 21 日	消防団拠点施設整備事業（第7分団2班・第21分団）
平成8年		2 月 2 日	消防団拠点施設整備事業（第4分団）
	//	4 月 1 日	職員定数511名
	//	//	第11代消防局長に志村正信就任
	//	//	機構改革 企画管理室と総務課を統合し総務課とし、企画係を企画調整係に、経理係を財務係に改称し、人事厚生係と教養監察係を統合し人事厚生係とし、警防課機械係を廃止し特殊災害係を新設 予防課査察係を査察調査係に改称 [1局・5課・14係] 消防署 庶務係を廃止し救急係を新設 予防係を日勤職員とする
	//	//	松戸市地域防災リーダー及び地域防災協力員制度発足
	//	//	消防音楽隊（消防団員の採用開始）
	//	8 月 23 日	札幌市で開催された全国消防救助技術大会に3チーム15名が出場し全チーム入賞
平成8年		10 月 1 日	八ヶ崎消防署設置 指揮車（電光式災害標示装置付）消防車、ミニ車、救

松 戸 市 消 防 の あ ゆ み

//	10 月 1 日	急車、職員29名
//	//	松戸市消防団八ヶ崎方面隊発足
//	//	災害対策車（クレーン付）を導入
//	//	震災対策用資機材としてスコップ84本、チェーンソー10基を消防団に配置
//	10 月 30 日	エジプト国ビル崩壊災害現場に国際消防救助隊員1名を派遣（～11月6日）
//	11 月 9 日	消防まつりを消防訓練センターにて実施
//	11 月 27 日	救急自動車 三山氏より八ヶ崎消防署に寄贈
//	12 月 24 日	消防団拠点施設整備事業（第31分団・第35分団）
//	12 月 25 日	消防団拠点施設整備事業（第12分団1班）
平成9年	1 月 26 日	「放火のない明るいまちづくり運動」キャラバン隊による市内一斉予防指導の実施
//		
//	4 月 1 日	消防署の無人化による現場部門の強化
//	8 月 11 日	三山氏から災害特殊工作車「さいぞう君」寄贈（中央消防署配置）
//	8 月 12 日	松戸市消防特別機動部隊の創設
//	10 月 1 日	松戸市消防団条例定数を640名に改正
//	//	女性消防団員30名採用（第36分団発足）
//	12 月 17 日	消防団拠点施設整備事業（第16分団）
//	12 月 18 日	消防団拠点施設整備事業（第13分団・第14分団）
//	12 月 25 日	三山氏から高規格救急自動車寄贈（小金消防署配置）
//	1 月 20 日	「松戸市消防局警防規程」等の制定
//	3 月 7 日	自治体消防50周年記念事業「市民こぞって防火のつどい」開催 （市内居住の各種年齢層の方からの防火防災に対する意見発表等・イベント行事）
平成10年	3 月 20 日	消防相互応援協定の全面改正 （東京都、市川市、流山市、三郷市、柏市、鎌ヶ谷市、沼南町）
//	4 月 1 日	第12代消防局長に斎藤政大就任
//	5 月 11 日	松戸市婦人防火クラブを松戸市女性防火クラブに改名 （松戸市幼少年女性防火委員会）
//	6 月 1 日	水難救助隊発足、水難救助資機材の導入
//	6 月 18 日	消防特別機動部隊訓練をＪＲ東日本松戸電車区にて実施
//	7 月 5 日	「家庭救急員10万都市をめざして」の啓発事業で目標を達成 （応急手当講習会10万人達成）
//	10 月 1 日	移動系（携帯、自動車）の受信、転送の運用を開始する （松戸市、柏市、流山市、我孫子市、野田市、沼南町、関宿町）
//	11 月 8 日	消防まつり（消防訓練センター）
//	12 月 14 日	消防団拠点施設整備事業（第8分団）
//	12 月 15 日	消防団拠点施設整備事業（第32分団・第34分団2班）
平成11年	1 月 21 日	起震車（三代目）更新配置
平成11年	4 月 1 日	第13代消防局長に伊藤 朗就任
//	7 月 27 日	千葉県消防操法大会で、ポンプ車操法（第20分団）小型ポンプ操法（第14分団）が揃って優勝
//	8 月 19 日	横浜市で開催された第28回全国消防救助技術大会に障害突破5名が出場し入

松 戸 市 消 防 の あ ゆ み

			賞
	//	9 月 1 日	消防局玄関掲示板「イメージパネル」制作（松戸市金ヶ作中学校美術部により図案作成）
	//	9 月 21 日	台湾地震災害に国際消防救助隊員2名を派遣（～9月28日）
	//	10 月 21 日	横浜市で開催された第14回全国婦人消防操法大会で、第36分団が千葉県を代表して出場し、優良賞を受賞
	//	12 月 10 日	消防団拠点施設整備事業（第27分団）
	//	12 月 14 日	消防団拠点施設整備事業（第7分団3班・第19分団）
	//	12 月 15 日	コンピューター西暦2000年問題事故対応訓練を千葉西総合病院において実施
平成12年		2 月 10 日	大規模災害対応高規格救急車配置（二十世紀が丘消防署配置）
	//	3 月 1 日	上下型防火衣（スーツ式）を新規採用
	//	3 月 2 日	聴覚障害者のための緊急時対応ビデオ「火災を知る」を制作し、松戸市ろうあ協会へ贈呈
	//	4 月 1 日	新消防指令管制システム運用開始
平成12年		4 月 1 日	機構改革 総務課を企画管理室とし、企画調整係を総務係に、庶務係を管理係に改称〔1局・1室・4課・14係〕
	//	8 月 18 日	第29回全国消防救助技術大会に3種目3チームが出場し入賞
	//	11 月 12 日	消防まつり（訓練センター）
	//	12 月 21 日	消防団拠点施設整備事業（第3分団・第10分団・第23分団）
	//	12 月 23 日	平成12年度年末・年始火災特別警戒出動式を実施
平成13年		4 月 1 日	第14代消防局長に平舘征三就任
	//	//	機構改革 消防局、消防署の組織及び事務分掌を改正 予防課の3係を保安係、査察調査係に統合、基幹消防署に予防係を設置し、その他各室・課・署の係を廃止 〔1局・1室・4課・10消防署・5係〕
	//	//	松戸市消防局評価システム導入
	//	8 月 8 日	東京都で開催された第30回全国消防救助技術大会に斜めブリッジ救助5名が出場し入賞
	//	10 月 26 日	生物剤（炭疽菌等）災害対応訓練を実施
	//	12 月 4 日	赤い救急隊（赤救）発足
	//	12 月 10 日	消防団拠点施設整備事業（第28分団2班）
平成14年		3 月 18 日	消防局玄関掲示板「イメージパネル～雲にのってあそんだら～」制作（松戸市立中部小学校により図案作成）
	//	4 月 27 日	消防まつり（訓練センター）
	//	7 月 31 日	五香消防署を新築移転
平成14年		8 月 23 日	名古屋市で開催された第31回全国消防救助技術大会に引揚救助障害突破
平成14年		8 月 23 日	2チーム、計3チーム15名が出場し入賞
	//	11 月 1 日	救急指導用資機材贈呈式（特別養護老人ホーム陽光苑より訓練用人形レサシアンモジュラーシステムスキルポータモデル2体寄贈）
	//	12 月 9 日	消防団拠点施設整備事業（第9分団2班）
平成15年		4 月 1 日	第15代消防局長に大野正一就任
			機構改革 基幹消防署に予防担当室を設置し、予防係を廃止

松 戸 市 消 防 の あ ゆ み

			[1局・1室・4課・10消防署・3担当室・2係]
//	//		当直制による指揮隊及び火災原因調査業務の運用開始
//	6 月 1 日		8名団本部付として入団し、音楽隊活動を開始する。
//	8 月 28 日		仙台市で開催された第32回全国消防救助技術大会に斜めブリッジ救助1チーム5名が出場し入賞
//	11 月 17 日		高規格救急自動車 自由宗教一神会 浅見宗平氏より寄贈
//	12 月 8 日		消防団拠点施設整備事業（第12分団2班）
平成16年	2 月 5 日		応急手当普及車（天然ガス自動車）を導入 松戸市で第1号の圧縮天然ガス使用車
//	4 月 1 日		機構改革 消防局、消防署の組織及び事務分掌を改正 警防課と救急防災課を統合し、消防救急課を設置 方面本部を設置 企画管理室に財務担当室、消防救急課に救急担当室を設置 予防担当室を基幹消防署から方面本部へ改編
//	4 月 24 日		[1局・1室・3課・3方面本部・10消防署・5担当室] 「松戸消防50周年記念」消防まつり（訓練センター）
//	8 月 31 日		消防車両検討委員会設置 ・車両配置基準検討部会 ・車両平準化検討部会
//	10 月 1 日		消防経営会議設営（松戸市消防局会議運営要綱施行）
//	//		危機管理体制の強化（夜間・休日における危機管理担当者当直制度導入）
//	10 月 27 日		新潟県中越地震に緊急消防援助隊千葉県隊として4隊16名を派遣
//	12 月 22 日		消防団拠点施設整備事業（第28分団1班）
平成17年	1 月 7 日		全国初の消防救急車が運用開始となる。
//	4 月 1 日		テクニカルリーダー制度の制定
//	//		松戸市消防職員相談員制度の制定
//	//		松戸市消防職員親睦会発足
//	4 月 19 日		松戸市救急救命ネットワーク事業開始
//	4 月 27 日		松戸市消防局職員行動規範公布
//	5 月 19 日		全国消防長会救急委員会の開催
//	6 月 1 日		松戸市消防局ホームページリニューアル
//	10 月 14 日		松戸消防安全の日の制定
//	11 月 8 日		消防職員趣味の展示会を開催
//	11 月 9 日		携帯電話からの直接受信方式へ移行
平成18年	2 月 3 日		防災トレーナー制度の制定
//	2 月 9 日		第47回千葉県消防職員意見発表会最優秀賞受賞
平成18年	4 月 1 日		「消防救急なんでも相談電話」開設
//	4 月 22 日		消防まつり（訓練センター）
//	4 月 28 日		第29回全国消防長会関東支部消防職員意見発表会最優秀賞受賞
//	6 月 7 日		第29回全国消防職員意見発表会関東支部代表として出場
//	8 月 24 日		札幌市で開催された第35回全国消防救助技術大会に引揚救助、障害突破、ロープブリッジ救出、3チーム、14名が出場し入賞

松 戸 市 消 防 の あ ゆ み

//	9 月 9 日	民間患者等搬送事業所として4事業所を認定（松戸市初）
//	12 月 14 日	消防団拠点施設整備事業（第2分団）
平成19年	1 月 19 日	千葉県消防広域応援隊第4ブロック方面隊合同訓練（訓練センター）
//	2 月 15 日	第48回千葉県消防職員意見発表会最優秀賞受賞
//	3 月 16 日	「松戸消防安全の日」記念碑除幕式
//	4 月 1 日	第16代消防局長に塚越 昶就任
//	8 月 22 日	東京都で開催された第36回全国消防救助技術大会に障害突破、1チーム、5名が出場し入賞
平成20年	2 月 1 日	119番入電時にAED設置事業所案内を開始
//	4 月 1 日	第17代消防局長に溝田 猛就任
//	4 月 26 日	「松戸市制施行65周年記念」消防まつり（訓練センター）
//	8 月 29 日	北九州市で開催された第37回全国消防救助技術大会に引揚救助、障害突破、2チーム、10名が出場し入賞
平成21年	3 月 13 日	消防団拠点施設整備事業（第18分団）
//	4 月 1 日	第18代消防局長に佐久間 峰男就任
//	4 月 1 日	指令課にシステム担当室を設置
平成22年	3 月 19 日	消防団拠点施設整備事業（第25分団）
//	4 月 1 日	第19代消防局長に片平 紀行就任
//	//	機構改革 消防局、消防署の組織及び事務分掌を改正 企画管理室の財務担当室を廃止し、消防総務課を新設 〔1局・1室・4課・3方面本部・10消防署・5担当室〕
//	//	消防局に指揮隊を設置（2交替制）
平成23年	3 月 11 日	東北地方太平洋沖地震に伴う緊急消防援助隊派遣（3月14日～岩手県陸前高田市・福島県）
//	4 月 1 日	第20代消防局長に佐藤 博俊就任
//	4 月 1 日	「松戸市ほか5市消防指令事務協議会」設置
平成24年	11 月 29 日	消防救急無線をデジタル化に移行
平成25年	3 月 7 日	支援車Ⅰ型を新規導入
//	4 月 1 日	第21代消防局長に葛西 幸司就任
//	//	機構改革 消防局、消防署の組織及び事務分掌を改正 企画管理室を消防企画課に、消防救急課を警防課に改称し、指令課を廃止 救急担当室を廃止し、救急課を新設〔1局・5課・3方面本部・10消防署・3担当室〕
//	//	小金消防署を新築移転
//	//	「千葉北西部消防指令センター」を松戸市消防局内に設置
//	4 月 5 日	Nakamitsu BMW社から消防用業務車両寄贈（消防局配置）
//	4 月 18 日	松戸市・市川市・野田市・流山市・鎌ヶ谷市及び浦安市による指令業務の共同用開始
平成26年	3 月 26 日	高度救助隊を発足
//	11 月 26 日	松戸消防60周年記念～決意を新たに～を開催
平成27年	4 月 1 日	第22代消防局長に佐山 幸男就任
//	6 月 19 日	消防団拠点施設整備事業（第35分団）
//	8 月 29 日	神戸市で開催された第44回全国消防救助技術大会に基本泳法、1名が出場
//	9 月 9 日	平成27年9月関東・東北豪雨災害に伴う緊急消防援助隊派遣（9月11日～15日茨城県常総市）

松 戸 市 消 防 の あ ゆ み

平成28年	10 月 6 日	高規格救急自動車 自由宗教一神会 浅見照一氏より寄贈
	4 月 1 日	第23代消防局長に渡邊 仁志就任
	〃	第7代消防団長に小嶋 功就任
	〃	救急隊増隊 11隊目の救急車として八ヶ崎救急2号車（一神会寄贈車両）運用開始
	8 月 1 日	「松戸市ほか9市消防指令事務協議会」設置
	8 月 24 日	松山市で開催された第45回全国消防救助技術大会に基本泳法、1名が出場し入賞
	10 月 1 日	松戸市AED設置拡充事業開始【市内24時間営業のコンビニエンスストアやガソリンスタンド（松戸市危険物安全協会加入事業所）に設置】
平成29年	1 月 6 日	アルゼンチン共和国へ技術指導員を2名派遣
	10 月 25 日	災害対応型隊員輸送車新規導入
	3 月 4 日	松戸市消防音楽隊発足50周年記念・第13回定期演奏会を開催
平成30年	4 月 1 日	第24代消防局長に島本 幸夫就任
	〃	松戸市少年消防クラブ発足
平成31年	4 月 1 日	中央消防署新庁舎開署
令和2年	2 月 29 日	ドミニカ共和国へ技術指導員を2名派遣
令和2年	4 月 1 日	第25代消防局長に小川 直康就任
	〃	機構改革 消防局、消防署の組織及び事務分掌を改正
	〃	警防課に指令センター担当室を設置〔1局・5課・3方面本部・10消防署・4担当室〕
	〃	救急隊増隊 12隊目の救急車として五香救急2号車運用開始
令和3年	2 月 1 日	「ちば北西部消防指令センター」を中央消防署3階に設置、松戸市・市川市・野田市・習志野市 柏市・流山市・八千代市・我孫子市・鎌ヶ谷市及び浦安市による指令業務の共同運用開始
	4 月 1 日	第26代消防局長に長堀 弘就任
	10 月 1 日	第27代消防局長に山崎 武就任
令和4年	4 月 1 日	機構改革 消防局、消防署の組織及び事務分掌を改正 方面本部、予防担当室を廃止し、中央消防署・小金消防署・五香消防署に 毎日勤務職員を配置 警防課指令センター担当室を廃止し、情報通信課を設置 〔1局・6課・10消防署〕 東京都で開催された第50回全国消防救助技術大会、ロープブリッジ救出に 1チームが出場し、入賞。
令和5年	4 月 1 日	第28代消防局長に市川 敬章就任 機構改革 消防局指揮隊を廃止し、中央消防署・小金消防署・五香消防署に 方面指揮隊を配置 救急隊増隊 13隊目の救急車として中央救急2号車運用開始
令和6年	4 月 1 日	職員定数520名 方面指揮隊を専任指揮隊として運用開始 救急隊増隊 14隊目の救急車として小金救急2号車運用開始
	8 月 23 日	千葉県で開催された第52回全国消防救助技術大会、ロープブリッジ救出に 1チームが出場し、入賞。水上の部でも、溺者搬送1チーム、基本泳法1名 が出場し、入賞。
令和7年	2 月 28 日	岩手県大船渡市の林野火災へ緊急消防援助隊派遣（～3月10日）
	4 月 1 日	第29代消防局長に林 一郎就任



令和7年度 消防年報

発行日 令和7年5月

編集 松戸市消防局 消防企画課

〒270-2241

千葉県松戸市松戸新田 114-5

TEL 047-363-1111(代表)

FAX 047-363-1110



[消防局 HP]